

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第289号

令和5年5月10日
瀬戸市立幡山中学校



「うれしい知らせ」

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

弁天池の畔に「あやめ」が咲きました。この学校だよりの名前にも使われ、本校を象徴する花「あやめ」。花言葉は、世界を結ぶ虹を渡って届けられる「うれしい知らせ」だそうです。今回は、瀬戸市や本校が進めた「うれしい知らせ」をお届けします。

学校にとっては大忙しの4月が終わり、待ちに待ったゴールデンウィーク。しかし、楽しい日々はあっという間に過ぎ、また日常が戻ってきました。みなさんはどのような連休を過ごされましたか。連休中の5月5日は「こどもの日」。兜やこいのぼりを飾ったり、ちまきを食べたりしたご家庭もあるのではないのでしょうか。こどもの日というと男の子をお祝いする日と思われている方も多いかもしれませんが、実はそうではないようです。



男の子をお祝いするのは、5月5日と同じ日の「端午の節句」。これはもともと中国から伝わり、病気や災いを防ぐための節句として、菖蒲湯に入るなどして厄払いをするものでした。それが鎌倉時代以降、端午の節句で用いられる「菖蒲」の読みが、「勝負」や武道を重んじる「尚武」と同じであることなどから、男の成長と関連づけられるようになったと言われています。

では、「こどもの日」というと、すべての子ども達の健やかな成長を願うと共に、育ててもらったことへの感謝を表す日として祝日を設けたいと、昭和23年（1948年）に国会において制定された日です。つまり、男の子女の子ではなく、すべての子ども達の休日なのです。

今年度より、瀬戸市は詰め襟、セーラー服というこれまでの制服から、ブレザーへと移行しました。また、本校では、これまでの男女別名簿から男女混合名簿へと方向転換しました。子ども達が「性の多様性」を自然に受け入れ、性別を超えて誰に対しても区別なく接してほしい、そして、互いに一人の人間として、他を尊重できる心が育ってほしいという思いが込められています。子ども達、そして我々の意識がどのように変化していくのか、今後が楽しみです。

これからも、この幡中だより「あやめ」で、皆さんにうれしいお知らせをお届けできたいと思います。

新入生を迎える会

4月14日(金)



昨年度まではコロナウイルス感染症対策として、Zoom（遠隔）で行っていましたが、今年度から全校生徒が体育館に集まっての開催となりました。

生徒会役員が中心となって内容が考えられており、生徒が主体となって会が進行されていました。

「先輩のようになりたいです。」という1年生代表者の言葉に、幡山中学校の伝統を感じました。

部活動体験

4月26日(水)、27日(木)、28日(金)
5月1日(月)、2日(火)

1年生が入部する部活動を決めるために体験入部を行いました。それぞれの部活動では、先輩たちが優しく丁寧に指導する様子が見られ、1年生も楽しそうに体験していました。



PTA 総会・授業参観・学年懇談会

4月20日(木)



昨年度は PTA 総会と各学年懇談会は行うことができませんでしたが、この時期に授業参観はできませんでした。しかし、今年度は授業参観を行うことができました。当日は平日にも関わらず、多くの保護者の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

PTA 総会では今年度の役員が承認され、今後の活動について話がされていました。

体育祭

期日：5月25日(木) 9:00~12:00
〈 予備日：5月26日(金) 〉

今年度は地域の方にもお越しいただき、保護者の皆様とともにご参観いただきたいと思います。体育祭の実施の有無は tetoru 及び幡山中学校ホームページでお知らせします。また、駐車場には限りがあります。できる限りお車でのご来校はお控えいただくと幸いです。